



町民の声を代表して 10人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。
今回の議会では、10人の議員が、皆さんの声を代表して熱弁を振るいました。

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。

一般質問

高齢者の交通手段の確保策



美谷 芳昭

今後、本町は増々高齢化率が高くなり、それに伴って買い物や通院等、外出が困難な高齢者が多くなり、公共交通が発達していない本町にとって交通手段の確保が増々重要な課題となってくるがその対策として、

問 以前から議論になっている、新学校の通学バスに住民の便乗の可否についてどの程度検討が進んでいるか。

答 現在は、児童・生徒の運行を第一義的に考えた計画を立てているが、支障がない範囲で有効な手段を模索したい。

問 他の自治体でも実施している、地域単位へコミュニティバスのようなものを貸与し、地域で運営する方式は、本町では出来ないか。

答 島根や徳島県の事例も含め、地域福祉推進委員会の中で情報提供をし、本町にとってどのような方法が可能かなど検討してまいりたい。

一、高齢者の交通手段の確保策は！
二、農業集落排水（下水）の見直しを！

問 北大阪急行の延伸等、発展が予想される千里・箕面エリアに、阪急バスの新規路線として、西能勢から下田尻を経由し、新光風台、ときわ台を通って箕面森町までのコースの開拓を取り組んではどうか。

答 特に将来、新名神が開通したら拠点になるエリアだ、今後も箕面エリアに流れる町民は増加すると思われるが、能勢電鉄の難色や、赤字路線の補てん等、困難な諸課題がある。



箕面森町までの路線開拓を

農業集落排水の見直し
現在、東地区は農業集落排水事業で下排水処理を計画しているが、本町の財政難から着工の見通しは立っておらず、今な

お多くの家庭から生活排水が河川に直接放流されている。

一方、本町の下流域は自治体の水道の取水源となっており、良好な水質の確保が重要な役割であるため、いつまでも放置できない状況にある。

問 そこで、自然環境の保全と河川浄化の観点から、集合処理を見直し、個人設置型の合併浄化槽方式に変更し、補助金を創設して整備を誘導すれば処理率も向上するのではないか、見解は。

答 基本的には、集合処理を考えているが、今後は、地元地域の意向、事業効率率、そして財政状況を考慮した上で、下排水整備を進めたい。



阪神地区の水がめ、一庫ダム